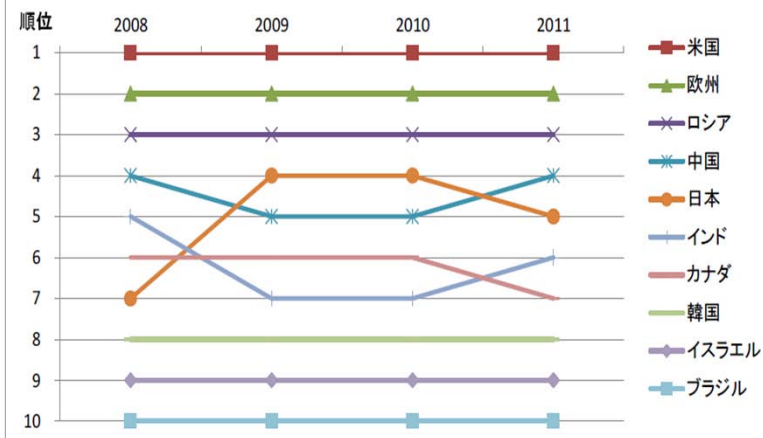
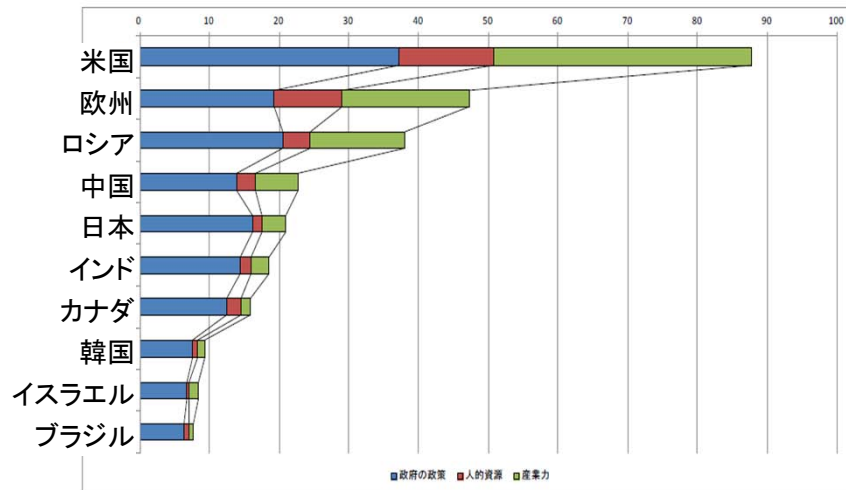


### (3) 宇宙開発の競争力

- 宇宙開発の競争力(米調査会社が政策・人的資源・産業力等から推計)のトップランナーは米国、それに欧州・ロシアが続く。我が国は中国・インド等と肩を並べるレベル。
- 宇宙開発関連企業売上高の上位20社に日本企業は1社のみ。

(宇宙競争力指標の国別比較(2011年))



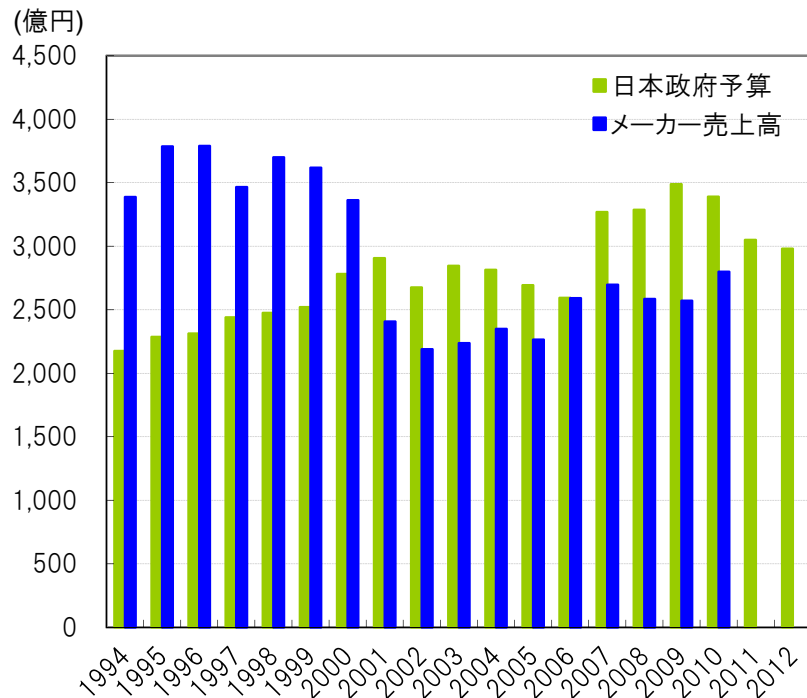
宇宙開発関連企業売上高比較

順位	会社名	国名	宇宙関連売上 (百万ドル)
1	ロッキード・マーチン	米	11,440
2	ボーイング	米	8,673
3	EADS	欧州	6,428
4	ノースロップ・グラマン	米	5,008
5	レイセオン	米	4,629
6	ガーミン	米	2,760
7	ターレス・アレニア・スペース	仏	2,680
8	L-3 コミュニケーションズ	米	1,800
9	エコスター	米	1,672
10	トリンプル	米	1,700
11	ゼネラル・ダイナミクス	米	1,524
12	Harris	米	1,489
13	ATK	米	1,347
14	オービタル・サイエンシズ	米	1,346
15	アリアンスペース	仏	1,311
16	スペースシステムズ・ロラール	米	1,108
17	ユナイテッド・テクノロジーズ	米	1,000
18	サフラン	仏	949
19	三菱電機	日	930
20	BAEシステムズ	英	776

## (4) 国内市場の規模・特徴

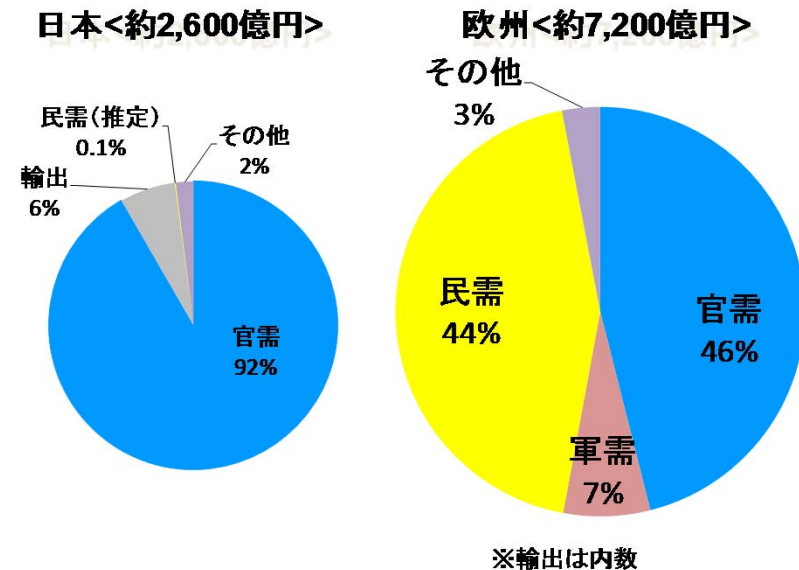
- 我が国の宇宙機器産業の売上げは2,600億程度。ピーク時に比べて2割程度減少。
- 欧米に比しても国内官需への依存が高く、売上の9割以上を政府予算が支える構造。

### 我が国の宇宙機器産業の売上推移



※1 日本政府予算は、2007年以降は、宇宙利用予算を含む。  
 ※2 2011、2012年のメーカー売上高は予測値

### 宇宙機器産業 売上高比較(2010)

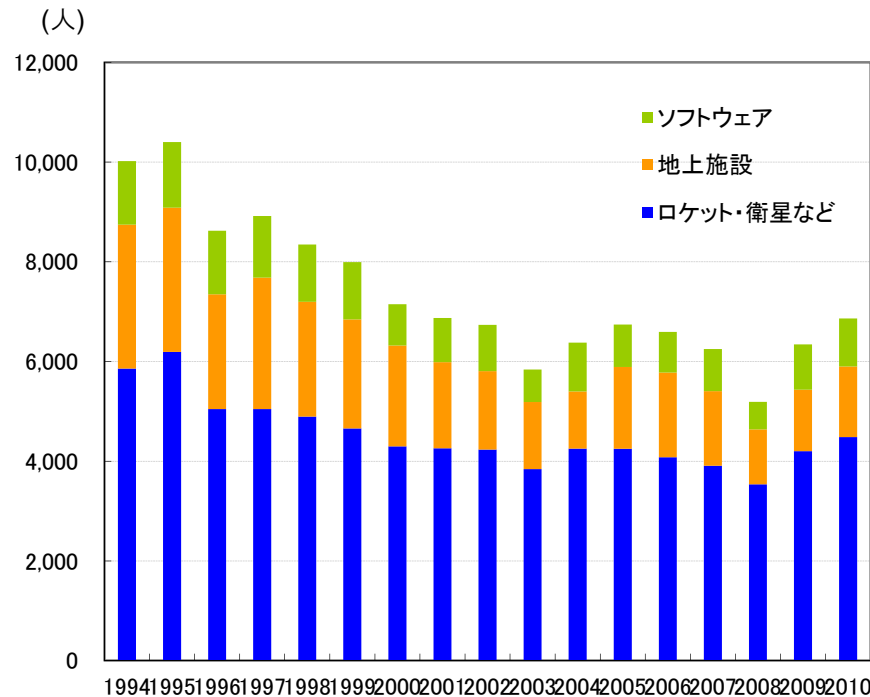


出典：日本航空宇宙工業会 「平成23年度宇宙産業データブック」

## (5) 国内産業の弱体化

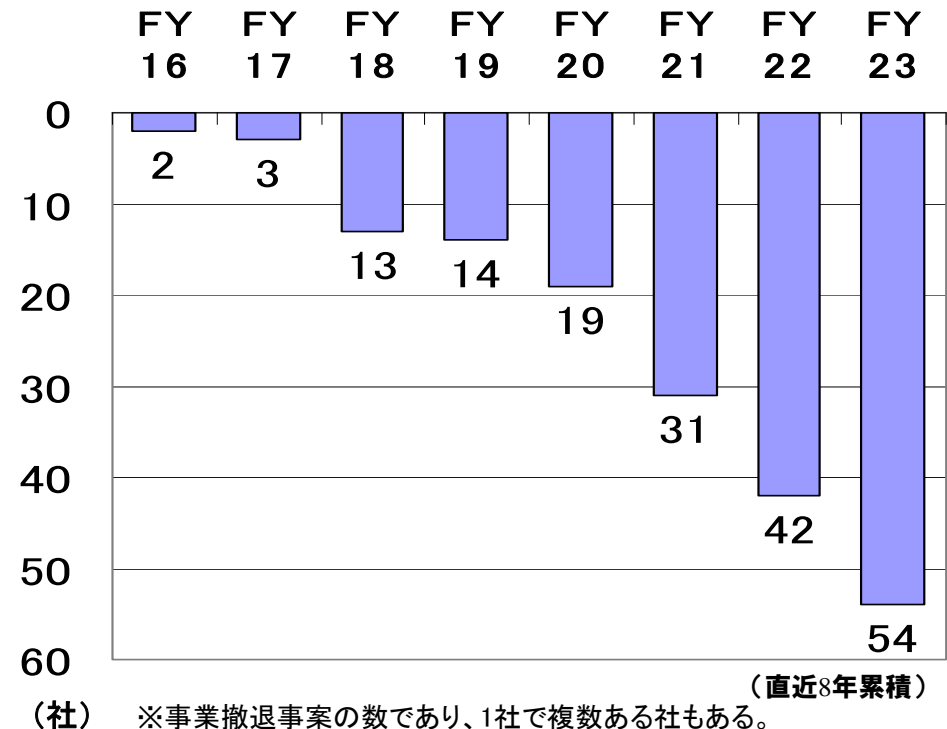
- 宇宙産業を支える宇宙機器産業の人員は減少傾向。関連機器メーカーの撤退が拡大。
- 我が国の宇宙開発の自立性を確保できる宇宙産業基盤を維持するためには、①外需の確保、②新規需要の確保(利用の拡大)が不可欠。

### 我が国の宇宙機器産業の人員推移



出典：日本航空宇宙工業会「平成23年度宇宙産業データブック」

### ロケット関係の事業撤退社推移



※事業撤退事案の数であり、1社で複数ある社もある。

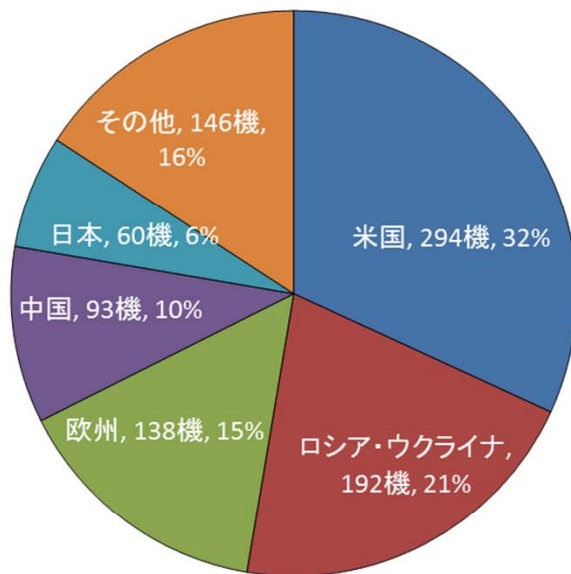
出典：内閣府 宇宙戦略室資料(第3回 宇宙政策委員会)  
 (三菱重工業資料 宇宙開発戦略本部 宇宙開発戦略専門調査会 第12回会合)

## (6) 我が国産業の国際競争力(人工衛星全般)

- 世界の人工衛星打上げ実績は年間約90機程度(うち我が国は年間6機分)。
- 今後の10年では、商業静止衛星は年約20機、非静止衛星は約30機弱となる見込み。  
(※これらは政府関連衛星(打上げを自国ロケットで実施)や、情報が開示されていない構想段階の計画は含まない。)

### 世界の人口衛星打上げ実績

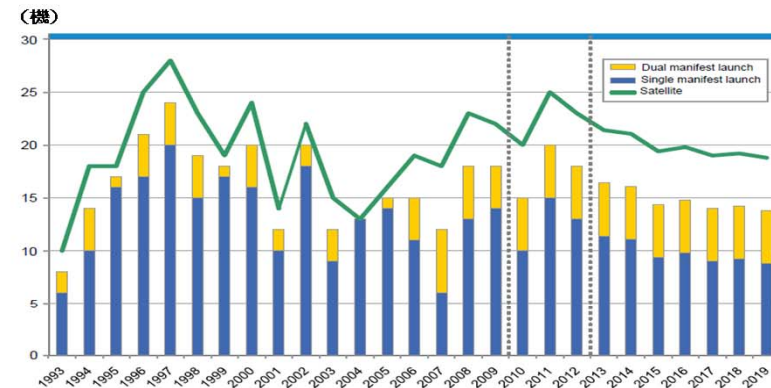
(2002~2011年)



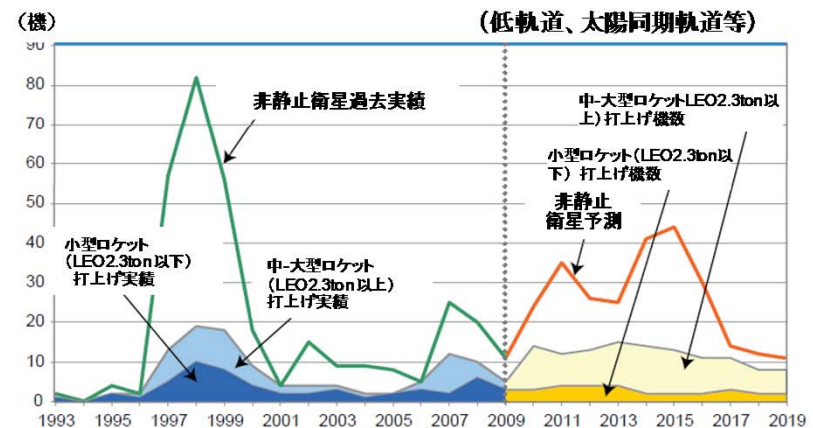
計 923機

出典: 日本航空宇宙工業会 「23年度宇宙産業データブック」

### 世界の商業静止衛星の打上実績と展望



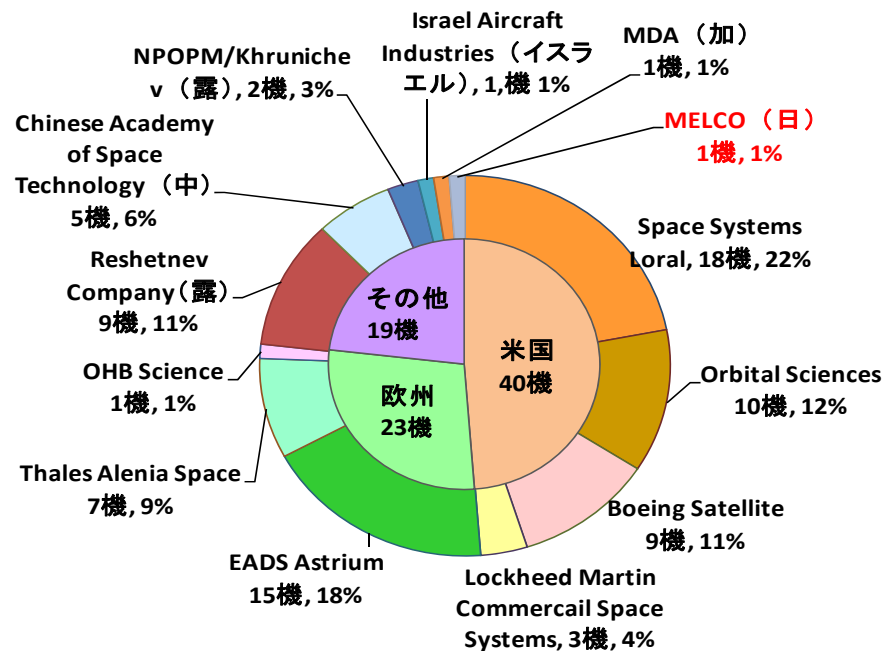
### 世界の非静止衛星の商業打上実績と展望



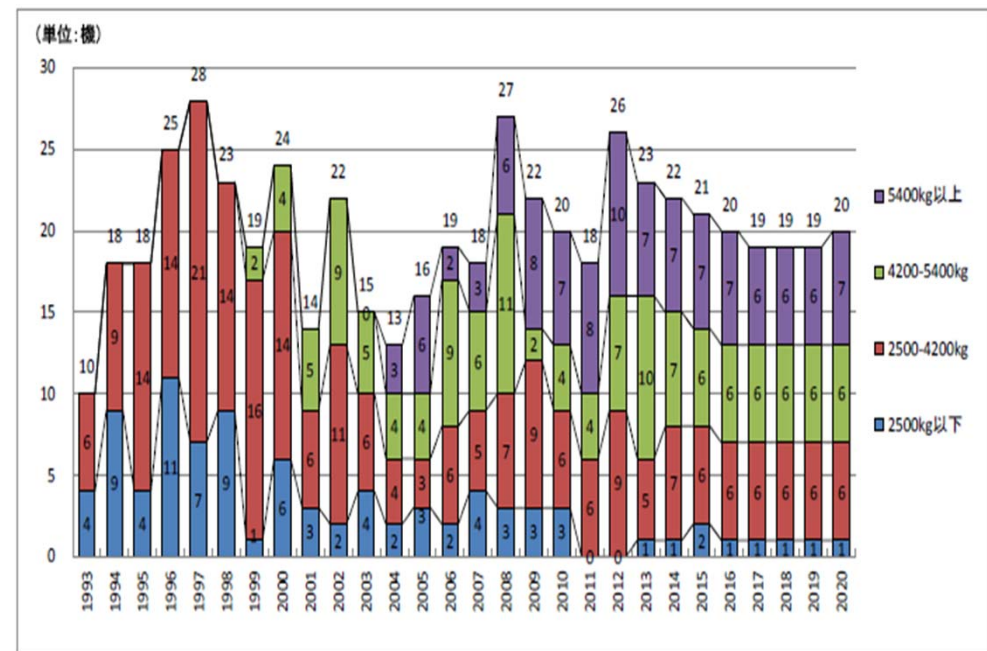
## (7) 我が国産業の国際競争力(商業静止衛星)

- 今後、世界の通信・放送衛星需要は拡大する見込み。
- 他方、日米調達合意(1990年)等の影響もあり、我が国の受注実績は4機に留まる。
- 高機能・長寿命な衛星を求める事業者の要請から、衛星は大型化傾向。また、市場ニーズの変化に対応できる通信・放送技術等が求められている。

### 商業通信放送衛星企業別受注残の機数



### 商用静止衛星の重量別分布の実績と予想の推移



出典: 社団法人日本航空宇宙工業会 「平成23年度宇宙産業データブック」

## (参考)過去の通信放送の受注実績

- 2008年にシンガポール・台湾の通信衛星1機を受注。
- 官民挙げた取り組みにより、2011年3月に三菱電機がトルコ政府より2機の通信衛星を受注し、2013年、2014年にそれぞれ打上げの予定。

### シンガポール・台湾から受注した 商業通信衛星

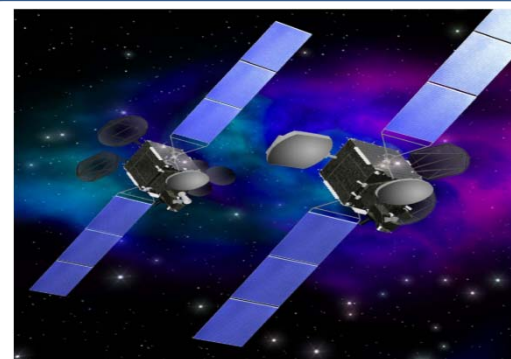


2008年に三菱電機が我が国  
企業初となる商用通信衛星  
ST-2を受注

2011年打上げ

シンガポールテレコムと中華電信に  
よる共同保有

### トルコから受注した商業通信放送衛星



2011年に三菱電機が、トルコ  
国営会社よりTurksat-4A &  
4Bを受注

2013年、2014年に打上げ予定

宇宙庁設立に向けた支援等を  
実施